



松山市民病院 病児保育 アイビー通信



第18号 令和4年12月 発行

風の冷たさに冬の訪れを感じる季節となりました。空気が乾燥するこの時期、室温だけではなく湿度の調整も行うことで、鼻やのどの粘膜の乾燥を防ぎ風邪を予防していきましょう。



ヒトメタニューモウイルス感染症について

小児科 小西医師より



2022年の秋、久しぶりに「ヒトメタニューモウイルス」の流行がありました。あまり耳なじみがないウイルスかもしれませんが、2001年に報告された比較的新しいウイルスです。どんな病気なのかを解説します。

<特徴>

このウイルスは、全ての年齢層に気道感染症を引き起こします。主要症状は発熱・咳嗽(がいそう)・鼻汁です。時に下痢・軟便を認めることもあります。気管支炎や肺炎に至ると、しばしば高熱が5~7日間続くことがあります。乳幼児に感染すると、喘息のようなゼイゼイとした呼吸状態を引き起こすこともあります。



<流行時期>

以前は春先に流行が多いといわれていましたが、新型コロナウイルスの影響で約2年間、あまり流行がなく、2022年は9月以降に流行しました。

<診断>

喉を綿棒で拭いたぬぐい液を用いた迅速検査で診断することができます。保険適応で検査ができるのは6歳未満のお子さんです。6歳以上のお子さんには原則検査はしていません。



<治療>

ウイルス感染のため、特効薬はありません。咳嗽(がいそう)や鼻汁に対して症状を緩和する薬で経過をみます。高熱が続きどうしても水分をとる元気がない場合や、寝付けないう場合は適宜解熱剤を使用してもかまいません。自宅療法中、高熱持続のため、あるいは咳き込みが激しくなり食事・水分がほとんど取れない、ゼイゼイして呼吸が苦しそうといった場合は、医療機関を受診するようにしましょう。

事前登録について

初めてお預かりするときに、少しでも時間を短縮するために、事前登録をおすすめします。

受付時間 平日 8:00~18:00

何かご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

〒790-0067

松山市大手町2丁目1-3

松山市民病院 病児保育アイビー

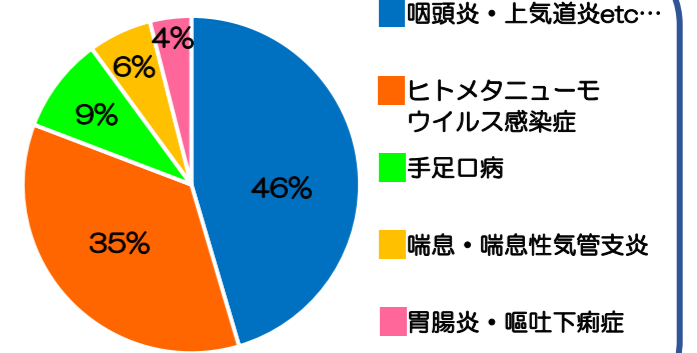
TEL 089-968-1319 (直通)

利用状況(R4.9~R4.11) 延べ345人



疾患別では、咽頭炎・上気道炎が149人、ヒトメタニューモウイルス感染症が116人、手足口病が30人、喘息・喘息性気管支炎が20人、胃腸炎・嘔吐下痢症が13人、年齢別では1歳児の利用が最も多く142人でした。

今回はヒトメタニューモウイルスの症状で利用されるお子さんが多くいました。



アイビーでの過ごし方

受診について

病児保育アイビーでは、当院小児科医の診察の後、必要であればPCR検査を行い、コロナ陽性ではないことを確認してお預かりしています。

遊びの様子

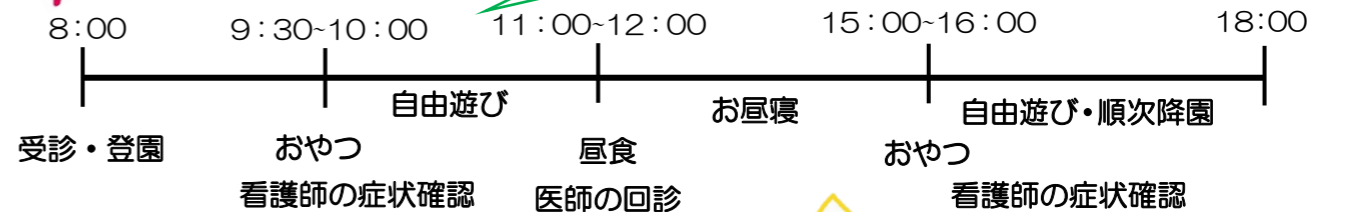


小さい子とも遊んでくれるお兄さん！
とっても癒される光景ですね！

動物さんのマンション！
移動しまーす！



お子さんの年齢・体調に合わせた遊びや過ごし方に配慮し、少しでも楽しく・安心して過ごせるよう工夫しています。



病状確認の様子

保育士から病状を聞き取りお子さんを視診症状に変化がないか確認しています。



回診の様子

聴診や触診を行います。体調に変化があれば、受診をしたり、入院したりすることもあります。



お昼寝の様子



持参のタオル2枚使用
125cm×55cmくらいの
タオルを準備して頂けると
助かります。

